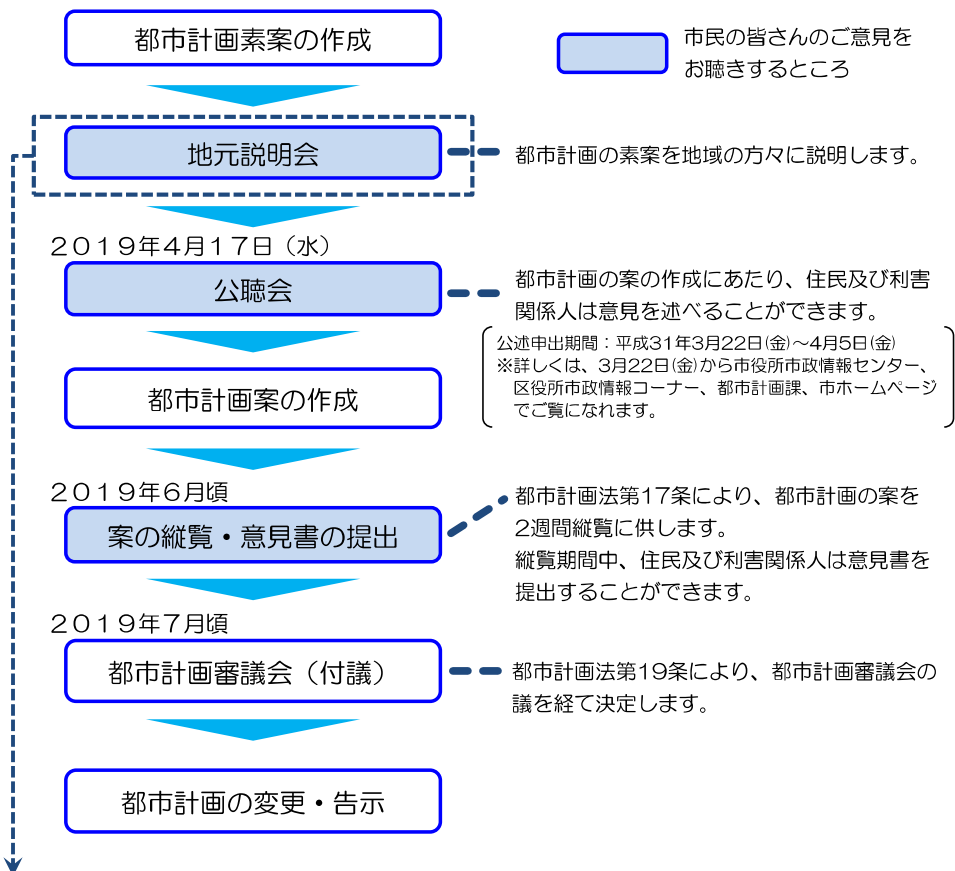


#### 4. 都市計画手続きの流れ（予定）



#### 地元説明会の日程

日時	場所
2019年3月17日（日） 午前9時30分から	国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）多目的ホール [所在地：南区茶山台1丁8-1]

※ご来場については、公共交通機関をご利用ください。

#### 5. お問い合わせ先 9:00～17:30（ただし、土・日曜日、祝日は除く）

（都市計画公園に関すること）	公園緑地整備課	TEL 072-228-7424	FAX 072-228-1336
（泉北ニュータウンの再生に関すること）	ニュータウン地域再生室	TEL 072-228-7530	FAX 072-228-6824
（都市計画手続きに関すること）	都市計画課	TEL 072-228-8398	FAX 072-228-8468

#### 都市計画公園（田園公園、三原公園、（仮称）泉ヶ丘公園）の都市計画変更（素案）について 一泉北ニュータウンの再生関連一

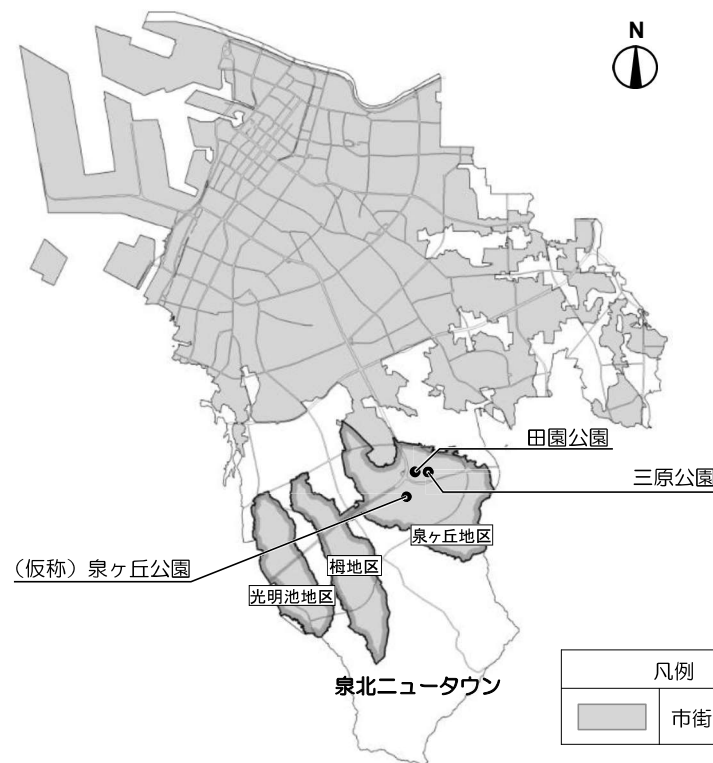
#### 1. 素案作成までの経緯

泉北ニュータウンは、まちびらきから50年が経過し、社会情勢の変化とともに人口減少、少子高齢化の進展、住宅や施設の老朽化など様々な課題が現れています。

本市では、泉北ニュータウンを将来にわたり多世代の方々が健康で、安全・安心に住み続けることのできる持続発展可能なまちとしていくため、市民、自治会、NPO、事業者、大学、行政等が連携しながら再生に取り組んでいるところです。

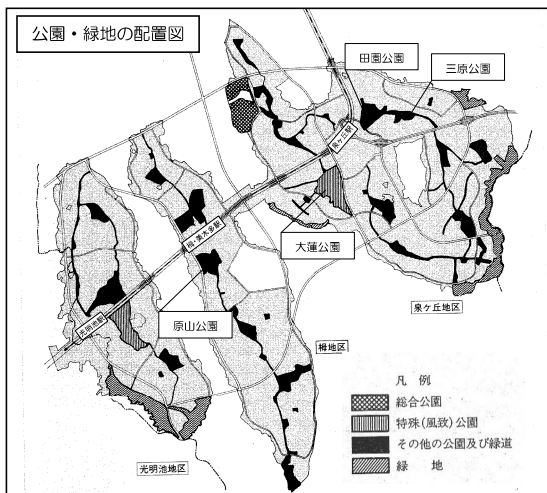
このような中、泉ヶ丘地区では、泉ヶ丘駅前地域活性化ビジョンに基づき、近畿大学医学部及び附属病院の開設を契機として、心身ともに健やかな生活を営むことのできる健康長寿や安全・安心の取組を進めるため、田園・三原公園を健康づくりにも利活用できる再整備に取り組めます。また、老朽化した泉ヶ丘プールは機能充実のうえ、原山公園へ移転し、梅地区の活性化も図ることとしており、これらの取組により、泉北ニュータウンの再生、本市の発展につなげていきます。

このため、泉ヶ丘地区における公園の配置や機能について検討を行い、田園公園、三原公園、（仮称）泉ヶ丘公園について都市計画変更の素案を作成しました。



## 2. 泉北ニュータウンにおける公園・緑地の配置の考え方

泉北ニュータウンにおける公園・緑地は住区構成に対応して、街区公園※1、近隣公園※2、地区公園※3を配置し、それらを緑道によって結び、より上位の空間である特殊（風致）公園、総合公園、さらに都市緑地へと繋がることで、ニュータウン全体で緑のネットワークを形成しています。



※1 街区公園…1住区に1～2箇所、主として住区に居住する住民を対象として配置する公園。

※2 近隣公園…誘致距離500mの範囲内で、主として近隣住区に居住する住民を対象として配置する公園。

※3 地区公園…泉ヶ丘地区、梅地区、光明池地区それぞれに1箇所ずつ、主として地区内に居住する住民の利用を対象として駅周辺に配置する公園。

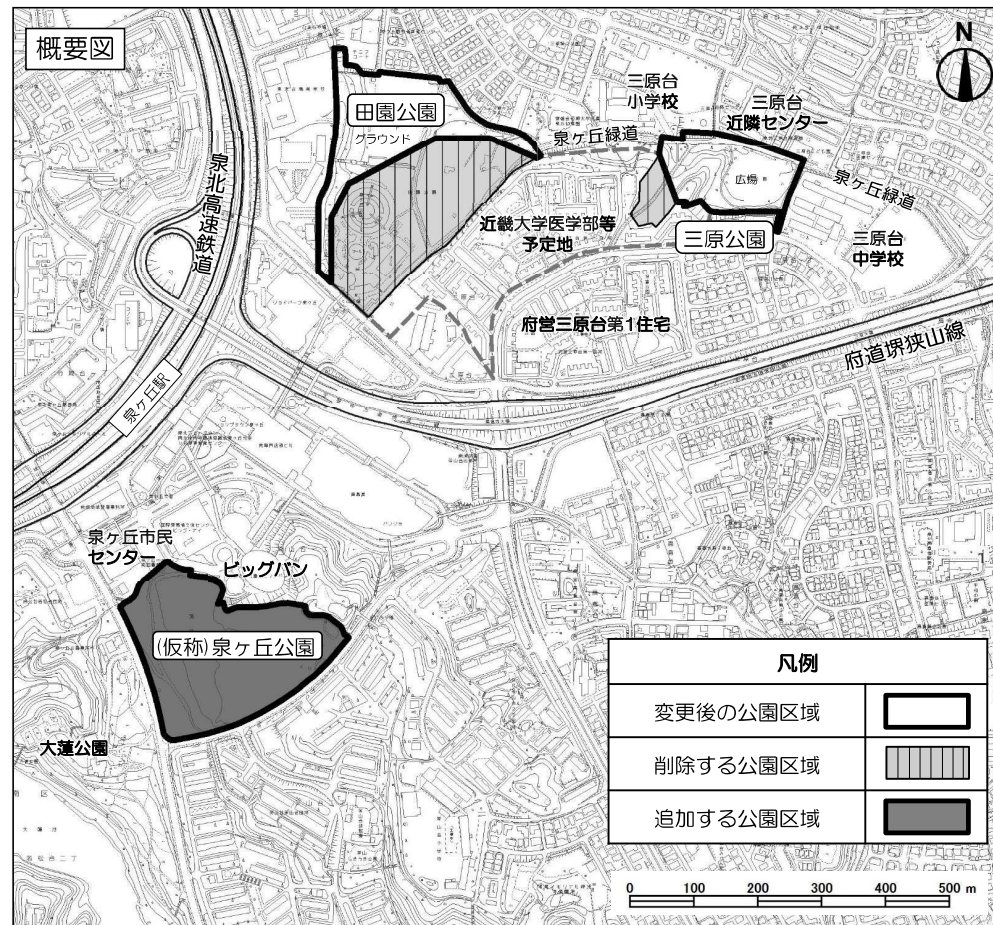
## 3. 都市計画変更（素案）の内容

近畿大学医学部等の予定地の一部となる田園公園及び三原公園の公園区域を縮小します。また、地区公園である田園公園については、プール機能※4を原山公園へと移転させ、遊戯施設を設置するなど、主な施設を変更し、近隣公園へ種別を変更します。

泉ヶ丘地区における地区公園については、2.の配置の考え方に基づき、泉ヶ丘駅前のビッグバン周辺地に新たに配置し、茶山台方面からの緑のネットワークを強化します。また、田園公園及び三原公園の変更により減少する公園面積や緑地機能を確保するとともに、豊かな緑や濁池の水景を活かした賑わい・レクリエーションの機能を追加します。

これらにより、泉ヶ丘駅周辺の公園が緑道によって結ばれ、泉ヶ丘地区全体における公園と緑のネットワークが強化されるとともに泉ヶ丘駅前地域の活性化を図ります。

公園名	種別		位置	面積			主な施設	
	変更前	変更後		変更前	変更後	増減	変更前	変更後
田園公園	地区公園	近隣公園	堺市南区三原台1丁及び三原台2丁地内	約8.0ha	約3.3ha	約4.7ha (減)	運動施設(プール) 修景施設(緑地) 広場・園路(緑道) 休養施設	修景施設(緑地) 広場・園路(緑道) 休養施設 遊戯施設
三原公園	近隣公園	近隣公園	堺市南区三原台1丁及び三原台3丁地内	約2.6ha	約2.2ha	約0.4ha (減)	修景施設(緑地) 広場・園路(緑道) 休養施設 遊戯施設	修景施設(緑地) 広場・園路(緑道) 休養施設 遊戯施設
(仮称)泉ヶ丘公園	—	地区公園	堺市南区茶山台1丁地内	—	約5.5ha	約5.5ha (増)	—	修景施設(緑地・池) 広場・園路 休養施設 遊戯施設 管理施設 便益施設
面積合計				約10.6ha	約11.0ha	約0.4ha (増)		



※4 田園公園内の泉ヶ丘プールについては、2019年度まで営業し、原山公園内のプールについては、2020年度から営業を開始することにより、プール機能については継続的に確保します。

### 【整備イメージ】

田園公園は、既存のグラウンド機能や緑道の通行機能を確保しながら、誰もが安全・安心に利用でき、スポーツ活動が行える広場や子どもから高齢者までが憩い、交流できる広場等の再整備を行います。

また、三原公園についても、既存の広場や緑道の通行機能を確保しながら、健康づくりを楽しみ、交流することができる広場等の再整備を行います。

これらの再整備により、田園公園及び三原公園を活かして、健康や生きがいを感じることができる「健幸」づくりの拠点を形成します。

(仮称)泉ヶ丘公園は、既存の豊かな緑や濁池の水景などの自然を活かし、子どもが創造的に学び、遊ぶことのできる広場や遊戯施設等の機能を新たに追加するとともに、ビッグバンや大蓮公園等の周辺施設と連携した整備を行うことにより、周辺と一体となった子どもの拠点を形成します。